

## 一般質問から

### 『「新しい生活様式」の実践例』の啓発について

**Q** 令和2年5月4日、新型コロナウイルス感染症専門家会議の提言より厚生労働省が公表した『「新しい生活様式」の実践例』。「手洗い、咳エチケット等の感染対策」、「3つの密」の回避、「人との接触を8割減らす、10のポイント」と共に、確実に行っていくべきと考える。啓発する立場の行政は、普及の過程で市民生活に犠牲を強いることのないよう努めていただきたい。

**A** 『教育を止めない為の取り組みと課題について』伺う。現在、文部科学省資料、県教育委員会「彩の国新しい学校生活5つのあんしん宣言」等を参考に校長会において協議し、環境衛生管理を徹底、感染拡大リスクを可能な限り低減した上で教育を止めないための取り組みを進めている。

今後の課題は、「不安を抱える子供たち一人一人に寄り添い、丁寧に向き合い続けていくこと」である。教職員全員、スクールカウンセラーや関係機関、保護者や地域住民等、周囲の大人たち全員で支えていくことが理想的である。

3番 福野 未知留

### 市民の防災意識の醸成について

**Q** 近年、頻発している豪雨への備えが必要です。これらの災害に対して公助として市ができることには限りがあります。災害関連死を含め人的被害を減らすためには、市民の皆様の防災意識を醸成し、自助・共助の充実を図ることが大事となります。その方策として洪水時の浸水深を電柱に表示することについてお考えをお聞きます。

**A** 洪水時の浸水深を電柱に表示する場合には、過去の河川ごとの氾濫した場合の「想定浸水深」があり、本市におきましては、利根川・荒川・江戸川・中川・綾瀬川など対象となる河川が多く、どのように浸水深を表示するか、また電柱への看板設置費用が課題とされておりました。

しかしながら、浸水深を表示することは、市民の皆様が、自ら生活する地域の水害の危険性を実感し、安全かつスムーズな避難行動へつなげることが期待できますことから、導入に向けて検討してまいりたいと考えております。

11番 鈴木 貞夫

### 市有地の活用について

**Q** 今後の学校用地の取得に計画されているところで、新設小学校予定地は、埼玉県が施行する八潮南部西一休型特定土地画整理事業地内にあり、民家・道路・水路等が撤去されずに残っており、更地となっていない状況です。

**A** 令和2年3月に策定された八潮市学校適正配置指針・計画には、南部地区の学校適正配置の第1期（令和2年度から令和11年度まで）の方向性として、「児童数の急増に伴い、大首根小学校、大瀬小学校の学校規模の適正化を図るため、早急に小学校予定地へ新設校の建設を検討する必要がある。」と記載されており、これに基づく八潮市学校適正配置指針・計画第1期実行計画においては、令和7年度に新設小学校の開校が

今後の学校用地の取得については、新設小学校の令和7年度の開校に向けて、埼玉県と協議し、庁内関係部署と調整の上、速やかに取得できるよう努めてまいります。

8番 林 雄一

### 新型コロナウイルスの対応について

**Q** 「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた水道料金・下水道料金について」と市のホームページにありました。現段階で何件の相談があり、どのような対応をしたのか。

**A** 6月12日現在、39件の相談があり、そのうち、猶予を行ったのは37件で、水道料金の猶予額については、4万4627円、下水道使用料の猶予額については、18万9858円となっております。

5番 川井 貴志



### 新庁舎整備事業について

**Q** 新型コロナウイルス感染拡大の影響で新庁舎建設が遅れが出るとはならないかと懸念しています。

**A** 新庁舎整備のスケジュールは令和2年度中に設計業務を完了させ、令和3年度に工事着工、令和6年1月にオープンという予定です。

現在、取り組んでいる設計業務で、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、市民説明会の開催を延期し、基本設計・素案に係る意見募集、パブリックコメントの期間も延長しました。また、設計会社と市との打ち合わせが予定どおりにできなかったことなどにより、基本設計の策定が遅れている状態です。

一方では、市庁舎は早期に耐震化を図る必要があるため、地震以外のどのような災害であっても、その対策の拠点としての重要な役割があります。

このため市としては、令和6年1月の新庁舎オープンという目標は変えずに早期に耐震化を図り、災害に強い庁舎への移転を目指してまいります。

14番 寺原 一行

### 新型コロナウイルス対策について

**Q** 新型コロナウイルス検査の結果が出るまでの待機先確保と、保健所・市役所・医療機関の連携について

**A** 感染者となった場合は病院、施設等へ隔離となりますが、結果が出るまでは自宅、施設において待機していただきます。その際、保健所においてマスク着用・手洗い・手で触れる共用部分の消毒、ゴミの出し方と併せて、感染症拡大防止のため、限られた方で看護するようお願いしております。施設においても同様をお願いしております。なお、その家庭に届けます。ケースバイケースで助言指導をすると伺っております。

保健所・市役所・医療機関との連携ですが、保健所には多くの相談があった状況だったため、電話がなかなか難しいことから、市では新たに新型コロナウイルス対策課を設置し、県では4カ所の拠点保健所に新たに職員を配置し、連携強化を図ることとなりました。また、医療機関についても必要に応じて助言をいただいているところであり、今後とも連携を図り、市民の皆様の不安の軽減、感染拡大防止に努めてまいります。

20番 瀬戸 知英子

# 一般質問から

## 持続化給付金の対象外となる事業者等の支援について

**Q** 川口市は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で売り上げが減少した中小企業等で、国の持続化給付金の対象外となる事業者等（売上げ減が前年同月比50パーセント未満）に20万円を支給するとしているが、八潮市での実施について

**2番 矢澤 江美子**  
また感染拡大防止に係る対応のほか、生活者への支援なども考えられる。  
市としては様々な新型コロナウイルス感染症に対する対策を検討する中で、効果的な事業者支援のあり方について、川口市をはじめとする他自治体の状況などを見極めた上、慎重に検討してまいりたい。

**A** ご提案にあった事業者への支援を図る取り組みは必要であると十分認識している。  
その一方で、第二波、第三波といわれる新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクがある中で、「新しい生活様式」を踏

**A** 届け出挙式を行うことは、自治体としては新たな一歩を踏み出すカプルの門出を応援することで、地域への愛着を深め定住化に繋がることが期待

## 市制施行50周年記念事業について

**Q** 本市は、令和3年度に市制施行50周年を迎えます。今年度は、新型コロナウイルスの影響で結婚式を予定したカップルも延期や中止を余儀なくされており。

**12番 前田 貞子**  
でき、また、カプルにとっても議場という特別な場所でも思いに残る挙式が行えるなどのメリットがございます。  
本市において、市制施行50周年記念事業として届け出挙式を行うことは、将来のまちづくりに向けた気運醸成を図るといって考えられます。

11月22日は「いい夫婦の日」。この日に、前提として市議会の合意を受けた上、市議会議場で「届け出挙式」を行うことについて

**A** このようなことから、市議会にもご意見を伺いながら、調査・研究してまいりたいと考えております。

## 新設小学校について

**Q** 八潮市学校適正配置指針・計画が策定され、潮止中学校に隣接する小学校の新設について、現時点での開校までの行程（ロードマップ）について

**13番 朝田 和宏**  
新設校を開校すると定めていますが、スケジュールについても「令和2年度から4年度で各種調査や設計業務、令和5年度から6年度で建設工事、令和7年度開校」と計画されています。  
また、これ以外にも、用地購入や学区の設定、学校名の決定等、様々な手続きを経て、令和7年度開校を目指すこととなります。

**A** 八潮市学校適正配置指針・計画に基づく個別計画「南部地区の児童・生徒数の増加への対応」では、「大曽根小学校と大瀬小学校では、数年で教室不足となることが想定されており、早急に新設小学校を建設する必要がある」とのことから、最短の期間で手続きを進めることとし、令和7年度当初に

## 新型コロナウイルス対策と子どもの学ぶ権利の保障について

**Q** 6月1日より学校が再開されましたが、感染防止とともに子どもの学ぶ権利をどのように保障していくのか、以下、質問します。

**9番 池谷 正**  
や県の動向を注視し、適宜、対応してまいります。なお、密を避けるために20人以下学級の試算をすると現在より154学級増えることとなります。③3月から5月までの学校休業に伴い、効果の検証が十分に行えないことや未指導分の学習内容を確実に指導し、少しでも授業を進めるため、県学力テストには参加しません。④子どもたちが活躍する場を別の形で設定できないか、市内小中学校校長会で検討しています。

**A** ①新型コロナウイルス感染症防止のために登校自粛している児童生徒も若干おりますが、欠席扱いにはしていません。②少人数指導を始め、様々な対応が考えられますが、今後は国

**A** 第43回東日本トランポリン競技選手権大会で優勝した男子中学生、ビーチバレーU-14で優勝した潮止中学校男子バレーボール部、更に新型コロナウイルスでマスク不足の中、手作りマスク61枚を市に寄贈した八幡中学校男子生徒などをはじめ、市内全ての児童生徒が光り輝く存在です。今後も一人一人個に応じたきめ細やかな教育

## 輝く子供たちについて

**Q** 4年連続の質問です。市内小中学生はこの1年どのような輝きを見せてくれたのでしょうか。

**19番 森下 純三**  
の一層の充実を図りながら、児童生徒が持てる力を十分に発揮できるように支援してまいります。

**A** 市内小中学生はこの1年どのような輝きを見せてくれたのでしょうか。

**A** 市内小中学生はこの1年どのような輝きを見せてくれたのでしょうか。



## その他の一般質問事項

※数字は議席番号です

- ①受動喫煙防止対策について⑱
- オンライン学習環境整備について(GIGAスクール構想)⑱
- 消防行政について⑰市が行う事業の情報共有の推進について⑥
- 都市化の進展に繋げる建築制限や開発許可基準の再検討について③「レジ袋有料化」の開始について⑧就労者支援について⑪
- 八潮市新庁舎建設の事業費と財源について⑫健康づくりを支援する「路面標示」の設置について⑬防災について⑰ごみ収集運搬事業について

**用語 一般質問とは**  
議員が市の仕事全般について、執行機関から現在の状況やこれからの考えを聞くこと





# 意見書

臨時会・定例会において、掲載の意見書を原案のとおり可決しました。

なお、可決した意見書は、関係機関に送付しました。

### 新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

中国湖北省武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症が蔓延し、世界全体の感染者数は434万人にのぼり、国内でも累計1万6千人を超え687人（5月14日現在）の方が亡くなられた。一日も早くこの感染症の拡大を終息させることは、国の最優先課題である。

それと同時に、国民経済に及ぼす影響を最小限に食い止めなければならぬことは言うまでもなく、国においては、国民の安心安全のため、様々な対策を講じ、第1次補正予算として纏めたところである。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い社会経済活動の制約によって、実体経済が大きな打撃を受ける状況が続いており、特にフリーランスなどの個人、小規模事業所や中小企業などが大変苦しんでいる状況である。

このため、景気を回復させるためには、従来の発想にとらわれずに、さらに大胆な緊急経済対策を全力かつ迅速に行うことが不可欠である。

よって、国においては、日本の経済を失速から再び成長路線に戻すとともに、国民の安心安全な生活や地域経済を守るため

下記の事項を実施することを強く要望する。

記

- 1 医療機関・介護施設・障がい者施設への財政支援
  - 2 フリーランス、小規模事業所、中小企業へのさらなる経済支援
  - 3 新たな大規模な補正予算を早急に編成し、財源には躊躇なく国債を発行してそれに充てること。
  - 4 融資を積極的に行うよう国から金融機関に求めること。
  - 5 労働者の休職に伴う助成制度の拡充
  - 6 アルバイト学生、非正規労働者等への支援
  - 7 PCR検査機器の増設や民間検査機関の活用による検査体制等の充実
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
- 令和2年5月18日

埼玉県八潮市議会

#### 提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 文部科学大臣
- 厚生労働大臣
- 経済産業大臣

### 保健所の増設と機能強化を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大という事態を受けて、各地の保健所は帰国者・接触者相談センターのほか、PCR検査、感染者の行動調査、接触者の確

認、入院先の調整、健康観察、自粛要請など多岐の業務に取り組み、地域の感染防止対策のうえで重要な役割を果たしています。

しかし、全国保健所長会が今年4月に行った緊急アンケートでも、24時間対応の相談センターの運営は66パーセントが自治体の直営で行われ、そのうち63パーセントは保健所だけで対応するなど、多くの保健所は過大な業務で疲弊しているのが現状です。本県においても県南の6市1町（人口約70万人）を所管する朝霞保健所は40人の職員を擁しますが、8本の電話回線がすべてふさがれる時もあり、土日もなく活動して同保健所だけで約400件にのぼるPCR検査の検体を県衛生研究所に送っています。このように少ない体制で新型コロナウイルス対策に追われているため、精神保健や難病等の相談、食品衛生、環境衛生、医

事・薬事等の監視活動など保健所本来の業務に手が回らないという状況さえ各地の保健所で生まれています。

感染症が発生・流行した場合、実際の治療・予防の拠点となるのは地域の専門医療機関や保健所ですが、感染症指定医療機関は100施設（3400床）減、保健所も地域保健法改定前（1994年）の847カ所から472カ所（2019年度）と減になっていきます。今回の新型コロナウイルス感染症に限らず、わが国では、はしかの患者が毎年10万人以上も発生し、風疹の

### 気候危機・気候非常事態を前提とした地球温暖化対策の更なる強化を求める意見書

患者数も世界ワースト4位（2012年WHO調査）、H1V・エイズ患者も増加傾向にあるなど、感染症指定医療機関の整備に加え保健所の増設と機能強化が強く求められる状況にあります。

よって国におかれましては、閉鎖・削減されてきた感染症指定医療機関の復活、公立・公的病院の再編統合の見直しと併せ保健所の増設と専門職員の増員、機能強化をはかるための対策を講じるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年6月18日

提出先

埼玉県八潮市議会

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

厚生労働大臣

地球温暖化対策は、地球規模の問題であり、世界、国、自治体全ての主体が取り組まなければ達成できるものではなく、とりわけ国が果たす役割は大きいものとなる。

よって国におかれましては、2030年度目標（2013年度比26パーセント削減）の達成に向けて着実に地球温暖化対策を推進するとともに、再生可能エネルギーの最大の導入に向け大胆かつ意欲的な目標値を示し、さらには、目標値の上積みに向け地方自治体を実施する施策への支援を拡充することを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年6月18日

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

総務大臣

環境大臣

埼玉県八潮市議会

### ●第3回定例会(9月)の日程(案)●

9月1日(火)	本会議 開会、開議、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案の上程及び提案理由の説明など
9日(水)	本会議 総括質疑(議案に対する質疑)、議案の委員会付託
10日(木)	総務文教常任委員会
11日(金)	建設水道常任委員会
14日(月)	福祉環境常任委員会
15日(火)	本会議(一般質問)
16日(水)	本会議(一般質問)
17日(木)	本会議(一般質問)
18日(金)	本会議 委員会報告、質疑、討論、採決など、閉会

※この定例会日程は予定ですので、変更する場合があります。

令和2年8月7日(金)に、第2回臨時会の開催が予定されています。

# 委員会のうごき

## 総務文教委常任委員会

委員会に付託された議案については、令和2年度八潮市一般会計補正予算(第3号)の分割付託1議案、その他3議案のあわせて4議案の審査を行いました。

令和2年度八潮市一般会計補正予算(第3号)歳出の小学校施設整備事業の大瀬小学校校舎増築基本設計業務委託料について、「想定している大瀬小学校の増築規模は」との質疑に対し、「普通教室が11教室、特別支援教室とプレイルームが併せて2教室、特別教室である音楽教室が1室、音楽準備室が1室、職員室が1室、その他付帯設備となっている」との答弁がありました。

また、「避難所にもなっている体育館の増築はしないのか」との質疑に対し、「体育館を増築する予定は現在のところない。昨年の台風を例に出すと、川が近い学校にあつては、氾濫の恐れもあったため、教室の2階以上に避難をしていたいただいた状況もあった。現在では、新型コロナウイルスの影響により、体育館では密の状況になってしまいうということも考えられ、教室にはエアコンが整備されていることから、教室を使うことも視野に入れて考えている」との答弁がありました。

議案の審査結果については、4議案すべて可決すべきものと決しました。

## 福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、令和2年度八潮市一般会計補正予算(第3号)の分割付託1議案、その他4議案のあわせて5議案の審査を行いました。

令和2年度八潮市一般会計補正予算(第3号)歳出のリサイクルプラザ管理運営事業について、「ポリ袋を使わずペットボトルを収集する方法として、ネット収集を検討してはどうか」との質疑に対し、「今後、ネット収集またはカゴ収集など、別の方法に切り替えていけるよう現在検討中である」との答弁がありました。

また、八潮市手数料条例の一部を改正する条例について、「マイナンバー通知カードが廃止になったが、今まで通知カードを利用して市民の方には、どのように周知するのか」との質疑に対し、「市のホームページにより周知している。なお、通知カード券面の記載内容に変更がなければ引き続き使用することができ、内容に変更があれば、マイナンバーカードを作るか、マイナンバーの記載された住民票を取得し使用していただく」との答弁がありました。

議案の審査結果については、5議案すべて可決すべきものと決しました。

## 建設水道常任委員会

付託された議案はありませんでした。

## 八潮市議会における新型コロナウイルス感染拡大防止対策

第1回臨時会・第2回定例会。各委員会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密の回避、ソーシャルディスタンスの確保という観点から次の対策を講じました。

■議場・委員会室  
○議員席・執行部席・傍聴席において、それぞれの間隔を空けました。



○会議中は、議場・委員会室内のすべての扉を終始開放しました。



○議場の演壇の下にある速記者席を、3密にならない場所に移動させました。  
○会議ごとに、消毒液を使用して座席の周辺を掃除しました。

■議事運営  
○市長の諸報告・提案理由の説明を一部省略し、文書配布としました。  
○第2回定例会において、会議時間を短縮するため、一般質問の議員1人あたり持ち時間(答弁を含む)を通常60分のところ30分に変更しました。



■議場・委員会室へ入場する議員・執行部職員・傍聴者のすべての方に次の事項について、協力を求めました。(※市議会ホームページに「傍聴の際のお願い」として掲載しました。)

- 来庁前の検温
- 37・5度以上発熱がある場合の来庁の自粛
- マスクの着用
- 入場の際の手指のアルコール消毒

## 議案

■議案第53号から議案第67号八潮市農業委員会委員の任命について

8月23日をもって任期満了となる八潮市農業委員に、次の方を任命することについて同意しました。

- |          |             |          |            |
|----------|-------------|----------|------------|
| 鈴木 隆 氏   | (すずき たかし)   | 荻野 恭子 氏  | (いひやまとしゆき) |
| 鈴木 新一 氏  | (すずき しんいち)  | 飯山 敏行 氏  | (いひやま たつり) |
| 白倉 正浩 氏  | (うすくら まさひろ) | 田中 幸夫 氏  | (おぎの きょうこ) |
| 大塚 一宏 氏  | (おおつか かずひろ) | 小倉 雅樹 氏  | (たなか ゆきお)  |
| 福岡 達則 氏  | (ふくおか たつり)  | 大野 ヒロ子 氏 | (おぐら まさき)  |
| 鈴木 新一 氏  | (すずき しんいち)  | 小早川 喜一 氏 | (おおの ひろこ)  |
| 白倉 正浩 氏  | (うすくら まさひろ) | 齋藤 富子 氏  | (さいとう とみこ) |
| 大塚 一宏 氏  | (おおつか かずひろ) |          |            |
| 飯山 敏行 氏  | (いひやま たつり)  |          |            |
| 荻野 恭子 氏  | (いひやまとしゆき)  |          |            |
| 田中 幸夫 氏  | (おぎの きょうこ)  |          |            |
| 小倉 雅樹 氏  | (たなか ゆきお)   |          |            |
| 大野 ヒロ子 氏 | (おぐら まさき)   |          |            |
| 小早川 喜一 氏 | (おおの ひろこ)   |          |            |
| 齋藤 富子 氏  | (さいとう とみこ)  |          |            |

## 編集後記

議会報編集委員会から

昭和40年創刊の「広報やしお」の一部分に掲載してきた議会報告は、平成9年に、議会単独広報紙として創刊した「市議会だより」へ移行しました。そして、現在に至るまで先輩議員の皆様が積み重ねてきたこの市議会だよりは、この度、第100号発行という記念すべき日を迎えることとなりました。今まで議会だよりを携わった全ての方々に敬意を表し、感謝を申し上げます。

過去の議会だよりの表紙を見直したところ、平成15年第1回定例会の報告では、つくばエクスプレス線の開通を祝う車両の写真でした。また、平成22年第1回定例会では市役所庁舎から見える工事中の東京スカイツリーです。いずれも、ついでこの間のニュースと聞いていましたが「光陰矢の如し」を痛感しました。これから市民の皆様が愛される議会だよりを発行してまいります。

(編集委員長 寺原一行)



100号発行  
心をいれて  
あつた

